

国際関係勉強会

ビーズが繋ぐ地域

—地域の広がり与人々の思いをビーズから学ぶ—

オンライン開催

2022年10月22日(土) 13:30~15:30

講師 加納 弘勝氏 (津田塾大学名誉教授)
開催方法 Zoom ※ご自宅等からオンラインでご参加ください
対象 同窓生、関係者
定員 先着40名(申込順)
参加費 1,000円

加納先生は「ビーズは究極の文化的価値を凝縮した『護符』であると同時に過去を現代に繋ぐ『威信財』である」と説かれます。今回の講義では、日本のビーズを中心に世界諸地域で出会ったビーズにも触れ「地域の広がり」とそれを担った人々の思いを探っていきます。

(1) 津田仙の「農業雑誌」が繋いだ地域—農業雑誌(読者)の広がり(そして狭まり)、人々との出会い (2) アイヌ玉と江戸玉—日本のビーズが繋いだ諸地域 (3) ビーズが繋ぐ世界の地域—広がり狭まり、時代を生きた人々に出会う—、世界諸地域の博物館で見た動物ビーズ、クロアチアのゲーム・ピースと碁盤、ウクライナ、金の葡萄ビーズその後の破壊など



→2019年津田塾大学で
↑2007年アレポ(シリア)の博物館で

加納 弘勝 (かのう ひろまさ)

1945年生まれ、71年東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。アジア経済研究所を経て、1989年から津田塾大学国際関係学科にて27年間の研究生活。津田塾大学名誉教授。前半はイラン都市研究、トルコ・中東都市研究。後半は第三世界の比較社会論、織物・ビーズ研究に専念。研究当初から地域に「生活する人々」の考え方や文化的価値に接近したかった。

主著・論文他『中東イスラム世界の社会学』(有信堂高文社、1989)、『第三世界の比較社会論』(同、1996)、『旅する人の地域研究—ビーズ・織物・影絵の語る現代世界—』(文化書房博文社、2005)、『世界のビーズ・地域の織物—人びとの願いとアイデンティティ』(同、2011)、『江戸のとんぼ玉—集積と製作、2つの地域のなかで』(岩瀬美術、2020)、『津田仙の「農業雑誌」と地域への広がり—明治10年代と20年代の読者に注目して—』(『国際関係学研究 No.45』、2018)、『繁栄と不滅 ビーズの祈り』(日本経済新聞2021年3/16)



参加申し込み手順 ※申込先着順です 入金をもって参加申し込み完了です

※参加費払込済みの方にZoom入室用 URL を 1 週間前に送信します。

1. 同窓会HPから申し込む(下記 URL 又は右記QR コードよりアクセス)。

<https://www.tsuda-jyuku.org/event/announce/127>

2. 自動返信メールが届く。

自動返信メールが届かない場合はogoffice@tsuda-jyuku.org までご連絡ください。

自動返信メールや事務局からのメールが迷惑メールフォルダに入る場合がありますのでご注意ください。

3. 参加費を入金する(入金方法は、下記 URL を参考にお選びください)。

<https://www.tsuda-jyuku.org/news/43>

開催日の 1 週間前に ZOOM URL 通知メールが届かない場合は ogoffice@tsuda-jyuku.org までご連絡ください。

※キャンセルポリシーについては右記 URL をご参照ください。

<https://www.tsuda-jyuku.org/news/71>

